

町の機械屋さんから大規模農家へ

兵頭農園 兵頭剛



農業大学校 → 農機具メーカー → 新規就農

兵頭氏は農業大学校卒業後、愛媛県内の農機具メーカーに就職。農業大学校と農機具メーカーで得た技術は、自身の経営に役立つよう機械のメンテナンスや修理作業を自身で行っているとのこと。

主な栽培作物は水稻であり、現在では約8haもの水田を管理している。さらに、ツルムラサキやシュンギクなどの野菜を約2ha栽培しており、自身の労働力等と照らし合わせながら通年収入を確保した営農計画を立てている。



兵頭氏の所有する農業機械

7年で栽培面積を2haから10haに規模拡大

家業は兼業農家であり、継承した農地（田）は約2ha。水稻の規模拡大の傍らで野菜も栽培し始め、現在では約10haの農地を管理する大規模農家となった。近隣農家から園地の管理をお願いされることも多いようで、地域で頼りにされているから自然と農地が集まるのだと感じた。これから規模拡大を進めていく構想で、法人化も視野に入れているとのこと。10年後には20haくらいになっているかもと語り、常時雇用なども検討している様子。



収穫期を迎えた水稻

これから新規就農を目指す方へ

シビアな話ですが、農業経営を本気でやっていくのであればたくさんのお金が必要になります。まずは、御自身でどれくらいの年収が必要か考えてみてはいかがでしょうか。年収から逆算して、必要出荷量・栽培面積を積算していけば、自身の農業経営をイメージできると思います。家族を養う必要があるのか、両親が支援してくれるかなども検討してみてください。



コンテナに詰められた大量のジャガイモ

農家になったきっかけ	農業大学校卒業後農機具メーカー就職し、家業を継ぐ形で就農
栽培作物	水稻、ツルムラサキ、ジャガイモ、カボチャ、シュンギク
栽培面積	約10ha（東京ドーム2個以上！）
農業歴	約7年